



利用者の皆様へ

来園するには新型コロナウイルス感染症対策をお願いします。

名護城公園の自然 秋の実

シャリンバイ

ティカチ(琉歌)、ティカチ(沖縄、渡嘉敷、久米)、トッカーズ(石垣)、トカチキ(西表)
バラ科 各島に分布
常緑の小高木です。葉は楕円形～倒卵形、長さ3～8cm、硬い革質です。円錐花序は枝先につけて、白色から薄桃色の芳香のある花を咲かせます。果実は球形、紫黒色に熟し食べられます。防風用、防砂用及び庭園木。樹皮からタンニンがとれ染料に使います。街路樹、生け垣にも使います。



ギーマ

ウチギ(与那国)、ジューマ(座間味)、タントゥイギーマ(伊平屋)
ツツジ科 各島に分布
高さ4mほどになる常緑の低中木。葉は楕円形で長さ2～5cm、ややかたい。花は3～4月頃に咲きます。鐘状のつぼみ型で、白から淡い紅色になります。果実は球形で径5～6mm、10月頃に紫褐色に熟します。完熟した果実は甘酸っぱく美味しい。庭園、公園、盆栽用に植えられます。
タントゥイギーマは種取りギーマの意味で、稲の播種行事である種取り祭の頃(10月頃)に果実が熟することに由来します。



ノボタン

ミーハンチャ(沖縄)、ゴンゴマーマ(石垣)、ハンクワー(西表)
ノボタン科 奄美群島以南の琉球列島
常緑低木。低地～山地の林道沿い、明るい場所に生えます。夏に大きな青紫色の美しい花を咲かせ、熟した実は食べられます。酸性土壌に育つため、中・南部には通常ないのですが、「ニービ」という大陸由来の土壌が酸性なので生えていることがあります。



オオイタビ

イシパーキ(沖縄)、サンニヤイ(与那国)、ヒンスーカザ(石垣)
クワ科 各島に分布
フィカス・プミラの名で観葉植物としてかなり出回っていたが、ブームが過ぎたのか、少なくなった気がします。蔓性の木本、性質はかなり丈夫で乾燥にもよく耐え、肥培管理で葉を小さくしたり、大きくしたりすることもでき、盆栽にも使われています。
果実は熟すと黒紫になり、黒砂糖のようにかなり甘いです。石壁、コンクリート、植物の幹等々あらゆる場所に這っていくので、緑化に適しています。



イヌビワ

アンマーチー(沖縄)
クワ科 淡路島、トカラ列島～先島諸島、大東諸島に分布
イヌビワ「犬枇杷」は通常落葉性の低木で、低地から山地にかけて普通に見ることができます。イチジク属の中では唯一の落葉性で晩秋になると葉が黄色になります。雌果実は黒熟し、甘く美味しいです。タテハチョウ科インガケチョウの幼虫の食する食草で、12～3月の涼しい期間にも新芽があり、幼虫がよく見つかります。



エビヅル(リュウキュウガネブ)

カニブ(沖縄・石垣・与那国)、ガニブ(久米)、カニポー(西表)
ブドウ科 日本、沖縄、朝鮮、南中国に分布
海岸林から低山地林縁に生えるツル性木本。沖縄の野生ブドウで唯一食べられますが、果実が小さい割に種は大きいです。ただ、生育場所によっては実の大きいのが見つかることがあります。



名護城公園ニュースレター **なんぐすく** 2021年10月号

名護城公園管理事務所 〒905-0012 沖縄県名護市名護5511

TEL(0980)52-7434 FAX(0980)52-7477 <https://nangukupark-osi.jp>

指定管理者 おきなわスポーツイノベーション協会 編集・発行:比嘉正一

